製品安全データシート

Agilent Technologies

Method 525 Standard Mix 3 (High Concentration) Agilent Part Number 8500-5936

1。 化学物質等及び会社情報

製品名 : Method 525 Standard Mix 3 (High Concentration) Agilent Part Number 8500-5936

製品番号 : 8500-5936

供給者/ 製造者 : 会社名 Agilent Technologies, Inc.
住所2850 Centerville Road Wilmington
Delaware 19808, USA

緊急連絡用電話番号(受付時間) : 緊急連絡先アジレント・テクノロジー株式会社
住所東京都八王子市高倉町9-1 (〒192-8510)
担当部門カストマコンタクトセンター
電話番号0120-477-111
FAX 番号0120-565-154

化学製品の推奨される用途

分析化学。
1 x 1 ml.

2。 危険有害性の要約

GHS分類 : 引火性液体 - 区分 2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 - 区分 2B
生殖毒性 [受精能] - 区分 2
生殖毒性 [胎児] - 区分 2
特定標的臓器毒性(単回暴露) [気道刺激性 および 麻酔作用] - 区分 3
特定標的臓器毒性(反復暴露) [血液系] - 区分 2
水生毒性(急性) - 区分 1
水生毒性(慢性) - 区分 1

GHSラベル要素

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体および蒸気。
眼刺激。
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
呼吸器への刺激のおそれ。
眠気やめまいのおそれ。
長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ。(血液系)
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

防止 : 使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 必要な個人用保護具を使用すること。 保護手袋を着用すること。 保護眼鏡/保護面を着用すること。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/材料取扱機器を使用すること。 火災を発生しないエ具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 容器を密閉しておくこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 蒸気を吸入しないこと。

対応 : 漏出物を回収すること。 皮膚(または毛)にかかった場合: 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと/取り除くこと。 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 取り扱った後、手を洗うこと。 吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 暴露または暴露の懸念がある場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 医師の診断/手当を受けること。

保管 : 施錠して保管すること。 涼しい所/換気の良い場所で保管すること。

廃棄 : 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。

シンボル :

分類されていない他の危険有害性 : データなし。

3。 組成及び成分情報

物質/製剤 : 混合物

成分名	%	CAS 番号	ENCS	ISHL
アセトン	>=90	67-64-1	(2)-542	データなし。
アルドリン	<0.1	309-00-2	(4)-303	データなし。
(1α,2α,3aα,4β,7β,7aα)-1,2,4,5,6,7,8,8-Octachloro-2,3,3a,4,7,7a-hexahydro-4,7-methano-1H-indene	<0.1	5103-71-9	(4)-637	データなし。
エンドリン	<0.1	72-20-8	(4)-299	データなし。
ヘプタクロル	<0.1	76-44-8	(9)-1646	データなし。
Heptachlor epoxide	<0.1	1024-57-3	データなし。	データなし。
γ－ヘキサクロロシクロヘキサン	0.025-0.1	58-89-9	(3)-2250; (9)-1652	データなし。
1，1，1－トリクロロ－2，2－ビス（4－メトキシフェニル）エタン	<0.1	72-43-5	データなし。	データなし。

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の補足的な成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されるためこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。

職業性暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

4。 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 被災者を暖かく安静にしておく。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 医師の診断を受ける。 意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。 被災者を暖かく安静にしておく。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 医師の診断を受ける。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚に触れた場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

目に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 炎症がおさまらない場合、医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。

医師に対する特別注意事項 : 特定の治療法はない。 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

健康への影響と症状の詳細については、セクション11を参照。

5。 火災時の措置

消火剤

適切 : 粉末化学消火剤、炭酸ガス、ウォータースプレー、泡消火剤を使用する。

不適切 : ウォータージェットを使用してはならない。

特定の危険有害性 : 引火性の高い液体および蒸気。 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり、容器が破裂し、その結果爆発が起こるリスクがある。 流出物が下水道に流れ込むと、火災や爆発を引き起こす危険性がある。 本製品は水生生物に対して非常に有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。 本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある：
二酸化炭素
一酸化炭素

消火を行う者に対する注意事項 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。 ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。

5。 火災時の措置

消防士用の特殊保護具 : 消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具(SCBA)を装着しなければならない。

6。 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり,その上を歩いたりしてはならない。 全ての発火源を遮断する。 危険地域には、発火信号、煙草、火焔機器を持ち込まない。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。 水質汚染物質である。 大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

封じ込めおよび洗浄に関する方法および材料 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 火花防止型の工具および防爆型の装置を使用する。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7。 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 暴露を避ける－使用前に個別の取扱説明書を入手する。 妊娠中は暴露を避ける。 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。 摂取してはならない。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 環境への放出を避けること。 換気が十分な場所でのみ使用する。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 十分な換気がない限り,保管場所および密閉された空間に入らないこと。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。 防爆型の電気装置 (換気設備、照明用具、物質取扱い用具) を使用する。 火災を発生しない工具を使用すること。 静電気防止対策を講じる。 火災や爆発を防止するため、容器を接地して運搬中の静電気を放電させると共に、物質を移し換える前に容器と用具を電気的に接続する。 容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。 容器を再利用してはならない。

安全に保管するための注意事項 : 現地法に従って保管する。 隔離され認定された場所に貯蔵する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 あらゆる発火源を除去する。 酸化性物質に近づけない。 使用直前まで,容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8。 暴露防止及び保護措置

許容濃度

職業暴露限界

成分名	暴露限界値
アセトン	**ISHL (日本、10/2004)。** 管理濃度: 500 ppm 8 時間。 **JSOH (日本、9/2008)。** OEL-M: 470 mg/m³ 8 時間。 OEL-M: 200 ppm 8 時間。

推奨される測定方法 : 当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。

適切な技術的管理 : 換気が十分な場所でのみ使用する。 行程囲壁、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し,作業者が暴露される空中浮揚汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定暴露限界以下に保つ。 ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を暴露限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。 防爆型換気装置を使用する。

環境暴露管理 : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。 場合によっては排出物を許容レベル以下に下げるために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

個人の保護措置

衛生措置 : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。 汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。 汚染された衣類は,再着用の前に洗濯する。 作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

呼吸器の保護具 : リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。 使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。

8。 暴露防止及び保護措置

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

目の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。

皮膚の保護 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

9。 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 : 液体。

色 : 透明。無色。

臭い : ミント

臭気閾値 : データなし。

pH : データなし。

融点 : データなし。

沸点 : データなし。

引火点 : 密閉式: -18 ~ 23° C (-0.4 ~ 73.4° F)

蒸発速度 : データなし。

引火性(固体、気体) : 次の物質および条件の存在下で引火性: 裸火、火花、および放電 および 熱。

爆発(燃焼)限界の上限および下限 : データなし。

蒸気圧 : データなし。

蒸気密度 : データなし。

比重 : データなし。

溶解度 : 以下の物質に容易に溶解する: 冷水、温水 および アセトン。

オクタノール/水分配係数 : データなし。

分解温度 : データなし。

自己発火温度 : データなし。

10。安定性及び反応性

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険な反応の可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : いかなる発火源 (火花あるいは炎) にも近づけてはならない。 加圧、切断、溶接、ロウ付け、はんだ付け、穴あけ、研削を行ってはならず、容器を熱源や発火源に近づけてはならない。

混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性: 酸化性物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11。有害性情報

最も重要な健康への影響

起こりうる急性毒性

吸入した場合 : 中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。 眠気やめまいのおそれ。 呼吸器への刺激のおそれ。

飲み込んだ場合 : 中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。 口、喉および胃に刺激を及ぼすおそれがある。

皮膚に触れた場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

目に入った場合 : 眼刺激。

健康への慢性効果の可能性

概要 : 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ。

吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚に触れた場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

目に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

発がん性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇形性 : 胎児に障害を与える疑い。

11。有害性情報

発育への影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖能力に対する影響 : 生殖能に障害を与える疑い。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
気道の刺激
咳
吐き気または嘔吐
頭痛
眠気/疲労
浮動性のめまい/回転性のめまい
意識不明

飲み込んだ場合 : 明確なデータは無い。

皮膚に触れた場合 : 明確なデータは無い。

目に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
刺激
流涙
発赤

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
アセトン	LD50 経口	ラット	5800 mg/kg	-
アルドリン	LD50 皮膚	ウサギ	15 mg/kg	-
	LD50 皮膚	ラット	98 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	38 mg/kg	-
(1α,2α,3aα,4β,7β,7aα)-1,2,4,5,6,7,8,8-Octachloro-2,3,3a,4,7,7a-hexahydro-4,7-methano-1H-indene	LD50 経口	ラット	500 mg/kg	-
エンドリン	LD50 皮膚	ウサギ	60 mg/kg	-
	LD50 皮膚	ラット	12 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	3 mg/kg	-
ヘプタクロル	LD50 皮膚	ウサギ	500 mg/kg	-
	LD50 皮膚	ラット	119 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	40 mg/kg	-
Heptachlor epoxide	LD50 経口	ラット	15 mg/kg	-
γ－ヘキサクロロシクロヘキサン	LD50 皮膚	ウサギ	50 mg/kg	-
	LD50 皮膚	ラット	414 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	76 mg/kg	-
1，1，1－トリクロロ－2，2－ビス(4－メトキシフェニル)エタン	LD50 皮膚	ウサギ	>6 g/kg	-
	LD50 皮膚	ラット	>6 g/kg	-
	LD50 経口	ラット	1855 mg/kg	-

慢性毒性

データなし。

刺激性/腐食性

データなし。

感作性

データなし。

発がん性

データなし。

変異原性

データなし。

催奇形性

データなし。

生殖毒性

データなし。

特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)

11。有害性情報

名称	標的器官
アセトン	気道刺激性 および 麻酔作用
アルドリン	神経系
エンドリン	腎臓、肝臓 および 神経系
γ－ヘキサクロロシクロヘキサン	神経系
1，1，1－トリクロロ－2，2－ビス(4－メトキシフェニル)エタン	神経系

特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)

名称	標的器官
アセトン	血液系
アルドリン	腎臓、肝臓 および 神経系
エンドリン	肝臓 および 神経系
Heptachlor epoxide	肝臓
γ－ヘキサクロロシクロヘキサン	腎臓 および 肝臓
1，1，1－トリクロロ－2，2－ビス(4－メトキシフェニル)エタン	睾丸
	内分泌物、肝臓 および 神経系

呼吸に対する危険有害性

名称	結果
アセトン	吸引性呼吸器有害性 - 区分 2

急性毒性推定値(ATE値)

データなし。

12。環境影響情報

生態毒性 : 本製品は水生生物に非常に強い毒性を有する。 本製品は水生生物に対して有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。

水中毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
アセトン	急性 LC50 7550000 ug/L 真水	甲殻類 - Asellus aquaticus	48 時間
	急性 LC50 10000 ug/L 真水	ミジンコ属 - Daphnia magna	48 時間
	急性 LC50 >100000 ug/L 真水	魚類 - Pimephales promelas - Juvenile (Fledgling, Hatchling, Weanling) - 0.2 ~ 0.5 g	96 時間
アルドリン	急性 EC50 28 ~ 39 ug/L 真水	ミジンコ属 - Daphnia pulex - LARVAE	48 時間
	急性 LC50 0.21 ug/L 真水	甲殻類 - Paratelphusa jacquemontii - Intermolt	48 時間
	急性 LC50 1.2 ug/L 真水	魚類 - Clarias batrachus	96 時間
(1α,2α,3aα,4β,7β,7aα)-1,2,4,5,6,7,8,8-Octachloro-2,3,3a,4,7,7a-hexahydro-4,7-methano-1H-indene	急性 LC50 7.09 ~ 11.8 ug/L 真水	魚類	96 時間
エンドリン	急性 LC50 0.0000011 ~ 0.0000027 ug/L	甲殻類 - Asellus aquaticus - Juvenile (Fledgling, Hatchling, Weanling) - 21 日	48 時間
	急性 LC50 0.000022 ~ 0.000052 ug/L	ミジンコ属 - Daphnia pulex	48 時間
	急性 LC50 0.05 ug/L 海水	魚類 - Menidia menidia - 54 mm - 0.9 g	96 時間
ヘプタクロル	急性 EC50 0.00015 ppm 海水	甲殻類 - Penaeus duorarum	48 時間
	急性 EC50 42 ug/L 真水	ミジンコ属 - Daphnia pulex	48 時間
	急性 LC50 0.8 ug/L 海水	魚類 - Thalassoma bifasciatum - 80 mm - 5.4 g	96 時間
Heptachlor epoxide	急性 LC50 240 ~ 300 ug/L 真水	ミジンコ属 - Daphnia magna	48 時間
	急性 LC50 5.3 ~ 7.2 ug/L 真水	魚類 - Lepomis macrochirus - 0.5 g	96 時間
γ－ヘキサクロロシクロヘキサン	急性 EC50 0.00022 ppm 海水	甲殻類 - Penaeus aztecus	48 時間
	急性 EC50 100 ug/L 真水	ミジンコ属 - Daphnia carinata - Adult - 2 ~ 2.5 mm	48 時間
	急性 LC50 1.1 ug/L 真水	魚類 - Clarias batrachus	96 時間
1，1，1－トリクロロ－2，2－ビス(4－メトキシフェニル)エタン	急性 EC50 0.23 ug/L 海水	甲殻類 - Cancer magister - Zoea	48 時間
	急性 EC50 0.78 ~ 1.07 ug/L 真水	ミジンコ属 - Daphnia pulex - LARVAE	48 時間
	急性 LC50 1.7 ~ 2.8 ppb 真水	魚類 - Salmo salar	96 時間

12。環境影響情報

残留性/分解性

データなし。

生物濃縮の可能性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
アセトン	-0.24	-	低
アルドリン	-4.258	-	低
ヘプタクロル	3.87	-	低
Heptachlor epoxide	5.4	-	高
γ－ヘキサクロロシクロヘキサン	3.8477	-	低
1，1，1－トリクロロ－2，2－ビス(4－メトキシフェニル)エタン	3.5	138	低

その他の悪影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13。廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14。輸送上の注意

適用法令	国連番号	輸送固有名	クラス	PG*	ラベル	追加情報
IMDGクラス	UN1090	ACETONE solution. Marine pollutant (Aldrin (ISO))	3	II		Emergency schedules (EmS) F-E, S-D
IATA クラス	UN1090	Acetone solution	3	II		Passenger and Cargo AircraftQuantity limitation: 5 L Packaging instructions: 305 Cargo Aircraft Only Quantity limitation: 60 L Packaging instructions: 307 Limited Quantities - Passenger Aircraft Quantity limitation: 1 L Packaging instructions: Y305 Remarks Excepted Quantity

PG* : パッキンググループ

15。適用法令

日本の管理法令

火薬類取締法 : データなし。

高圧ガス保安法 : データなし。

消防法 : 第4類 第一石油類

消防法 : データなし。

要届出物質 : データなし。

消防法 - 妨害物質 : リストに記載されていない

指定数量 : データなし。

指定数量 : データなし。

指定数量 : データなし。

性質 : データなし。

危険等級 : データなし。

15。適用法令

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

特定化学物質の用途 : データなし。

労働安全衛生法 : 引火性液体 第二種
57条。

有機則 : 第2種

鉛中毒予防規則 : データなし。

職業病 : データなし。

海洋汚染および海洋災害防止法 : データなし。

危険物の海上運送規制に関する通達 : データなし。

航空法 : データなし。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) : リストに記載されていない

道路法 : データなし。

日本産業衛生学会 発がん性物質 : データなし。

労働安全衛生法: 第十八 - 四アルキル鉛等業務 : リストに記載されていない

労働安全衛生法: 第十八 - 製造の許可 : リストに記載されていない

労働安全衛生法: 第十八 - 製造等の禁止 : リストに記載されていない

労働安全衛生法 - 名称等を通知すべき危険物及び有害物 : 記載された

労働安全衛生法: 第十八 - 危険物 : 不燃性

特別管理産業廃棄物リスト : リストに記載されていない

化審法 （監視, 特定化学物質）

成分名	分類
アルドリン	第一種特定
(1α,2α,3aα,4β,7β,7aα)-1,2,4,5,6,7,8,8-Octachloro-2,3,3a,4,7,7a-hexahydro-4,7-methano-1H-indene	第一種特定
(1α,2β,3aα,4β,7β,7aα)-1,2,4,5,6,7,8,8-Octachloro-2,3,3a,4,7,7a-hexahydro-4,7-methano-1H-indene	第一種特定
エンドリン	第一種特定
ヘプタクロル	第一種特定
２－クロロ－４，６－ビス（エチルアミノ）－１，３，５－トリアジン	第2種監視

生分解性 : データなし。

魚に蓄積した化学物質の濃度 : データなし。

日本インベントリ : 未確定。

その他の規定 : データなし。

製品特有の安全、健康および環境に関する法規 : この製品（その成分を含む）に適用される可能性のある特定の国および/または地域の規則は知られていない。

16。その他の情報

ヒストリ

発行日/改訂版の日付 : 8/07/2010

前作成日 : 前もって確認されていない

.

バージョン : 1

参照 : データなし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。